

# 小中連携道徳通信3号

発行者：江田島中学校区道徳教育推進リーダー川中 健太

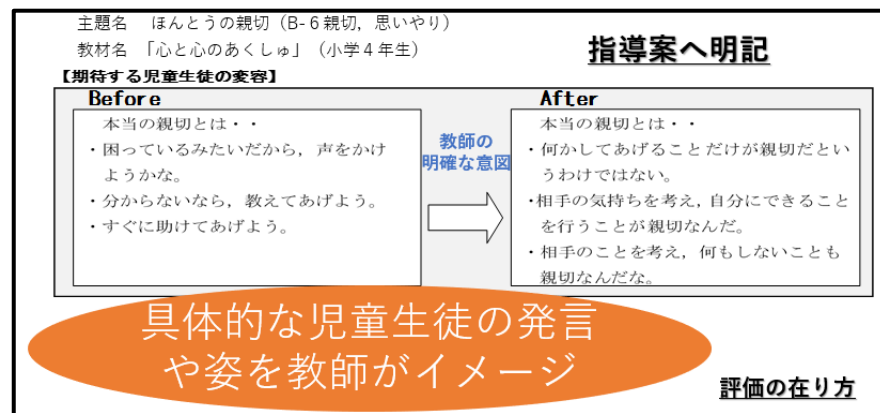
## 今年度の取組内容について

今年度、江田島中学校区は、研究主題を「自他ともに大切にする児童生徒の育成～小中9年間を見通した道徳科の授業づくりと評価を通して～」とし、研究を進めています。本号では、昨年度の取組を振り返り、今年度の取組の概要について紹介します。

### 昨年度の取組

1. 「道徳科」の指導の充実【授業づくり】  
(中心発問の吟味、話し合い活動の検討、自己を振り返る時間の充実(導入、終末))
2. 「道徳科」の評価の在り方【評価】

#### (期待する児童生徒の変容 (Before→After) の具体的な姿の設定)



### 昨年度の成果と課題

- 授業で「自分の考えを持たせた上での話し合い活動を仕組む」ことで、児童生徒が自分の考えを持ち、前向きに話し合いをする姿が多く見られるようになってきたこと。
- 期待する児童生徒の変容 (Before→After) の具体的な姿を設定することで、ねらいが具体的になり、教師が明確な意図を持って授業づくりを進められたこと。
- ▲ 9年間でめざす児童生徒の姿が具体的になっていないこと。
- ▲ 授業評価の研究が十分に進んでいないこと。

昨年度の取組に加えて、今年度、次のことに取り組んでいます。

### 今年度の取組

1. 「自他ともに大切にする児童生徒の姿」を発達段階ごとに設定し、その実現に向けた取組を進める。
2. 授業の中でめざす児童生徒の姿 (見取りの観点) を設定し、それに基づいた授業改善を行う。

### ○自他ともに大切にする児童生徒の姿

	自分を大切にする姿	他者を大切にする姿
小学校 低学年	・明るく素直な心を持ち、よいと思うことを進んで行おうとする姿。	・相手が気持ちよくなる言葉遣いをしようとする姿。
小学校 中学年	・粘り強く努力することで、自分の長所を伸ばそうとし、明るい心で伸び伸びと生活できる姿。	・友達のことを自分のこととして考え、友達と互いを助け合うことができる姿。
小学校 高学年	・自分の長所や短所を認め、自己の向上のための目標を持ち、伸長・改善するための努力ができる姿。	・広い心で自分と異なる意見や立場を尊重し、相手の立場を考えた行動や言動ができる姿。
中学校 1～3年	・自分の考えや気持ち、個性を理解し、それを肯定的に受け止めている姿。 ・自分の理想像を持ち、その実現のために (仲間と共に協力して) 一歩ずつ努力している姿。	・相手の考えや気持ちを想像し、相手のために自分ができることを考え、行動している姿。

### ○評価の視点の明確化

本校区では、次の3つの視点に照らしながら、学習指導案の中に期待する児童生徒の変容を明記し、児童生徒が記述した内容や発言を評価しています。あらかじめ教師が設定した視点に沿った記述や発言が多く見られれば、本授業は、ねらいに迫る授業であったと判断し、自分の考えを持たせるための手立ては有効だったか、発問は適切だったか、などについて協議し、授業者・道徳教育推進教師などで検証を行います。しかし、そうでなかった場合は、授業のどの部分に課題があったのかと改善点を明確にし、授業改善につなげていきます。

#### <授業の中でめざす児童生徒の姿 (見取りの観点) >

- ①自分自身との関わり [ア～エ]
- ②多面的・多角的な見方 [オ～キ]
- ③自己の生き方を見つめる [ク～ケ]

#### ●「道徳的価値の理解を①自分とのかかわりの中で深めているか」

ア 読み物教材の登場人物を自分に置き換えて、「自分だったらどうするかな。」と考えている。

イ 「今までの自分はこうだったけど、変えていこうかな」と行動や考えを見直している。

ウ 自らの考えを持ち、友達と比べて議論する中で、よりよい考え・行動の意味に気付いている。←「ぼくは、こう思っているんだけど、友達の意見を聞くとそっちの方がいいな。」

エ その価値理解はできているが、「そうは言っても、自分には、同じようにすることはなかなか難しいな。」と考えている。

#### ●「一面的な見方から ②多面的・多角的な見方へと発展しているか」

オ ある状況の中で、様々な視点からよりよい考え・行動を見つけようとしている。(多面的)

カ ある状況の中で、異なる立場の人の見方を考えた上で、その場におけるよりよい考え・行動を見つけようとしている。(多角的)

キ 複数の道徳的価値の対立(葛藤)が生じる場面の中で多面的・多角的に考えている。

←「〇〇してはいけないんだけど、□□してしまうな。」

#### ●「どのような生き方をしたいのか考え、③自己の生き方を見つめているか」

①エから発展して

ク その価値の難しさを乗り越えて、それが「できるようになりたいな。」と思っている。

②キから発展して

ケ 葛藤が生じる場面で

「けれども、〇〇することが大切なんだな。これから、そのように生きていきたいな。」と思っている。

見取りの観点の活用方法については、7月8日(水)に県教委から指導を受け、検討中です。詳細が決まり次第、道徳通信にてお伝えします。